

## おむつ廃棄物語④

自治体によって大きな差がある紙おむつの処理費用。自治体ごとに決められた価格を変えることはできないが、費用を抑える方法はある。

例えば、個々の利用者に合ったパッドを使ったり、排せつ時間に合わせトイレ誘導したりするなど自立を促す排せつケアをすることで、紙おむつの使用量と処理費用を減らすことができる。

一般社団法人廃棄物管理業協会の柳川知徳・事務局長は「ケアだけでなく、指定処理事業者との契約方法

などを見直すことで処理費用は安くできる」と話す。

その一つは、複数の指定収集業者から見積もりを取り、価格を比較することだ。比較の際は「月額いく

### 処理費用の削減方法

ら」といった大まかな金額でなく、「1キくらい」という重量計算で見積もりを取ることによって価格が下がることが多いという。

二つ目は、紙おむつに付いた便を

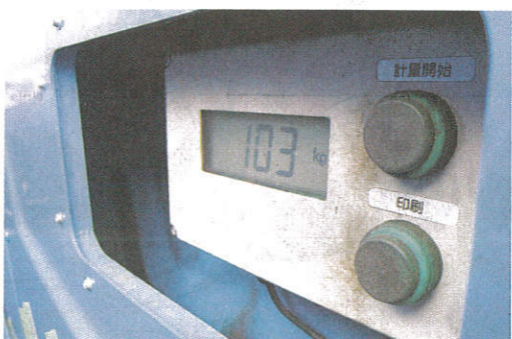
取り除いた後で廃棄することだ。これにより重量が減って、袋から便が出るなどのトラブルも避けられるという。

三つ目は、複数施設をもつ法人の

場合、同じ収集業者と契約することだ。複数施設がない場合でも、同一地域の施設がまとまり、同じ収集業者と契約すれば価格を下げられるという。

柳川局長は「地域によっては収集業者が少ない地域もある。また、収集業者によっては収集車に計量器を付けていないところもある。そうした収集業者の情報や、同一地域で同じ指定収集業者に依頼するノウハウなどは協会で提供できる。協会には各エリアに幹事会社があり、そこが中心になってマネジメントもできる。気軽に連絡してほしい」と話している。(おわり)

◆一般社団法人廃棄物管理業協会  
☎06・6538・0066



回収車に付いた計量器。相見積もりを取り、重量計算にすると価格は安くなる